

平成26年度から

阿南高専は新学科（創造技術工学科）になります。

設立理念

社会人・職業人として必要な一般教養と国際化対応能力、すべてのものづくりに共通して必要な基礎的技術・知識と情報処理能力を備えた人材、さらには、自らの専門分野の技術・知識と他の専門分野への興味と技術獲得意欲を有しつつ、幅広い工学分野に対してこれらの技術・知識、ならびに継続した学習意欲を創造的技術力として発揮できる人材を養成する学科です。

新学科のシステム

特徴

入学者選抜

推薦による選抜

中学校からの推薦書と面接試験等で選抜します。専門コースは限定されませんが、推薦された専門コースに内定したものと扱います。

学力による選抜

国語、社会、数学、理科、英語の学力試験で選抜します。専門コースの限定はしません。

第1学年

創造技術工学科に配属

一般教養などの共通科目とすべての専門コースの基礎科目を学習します。

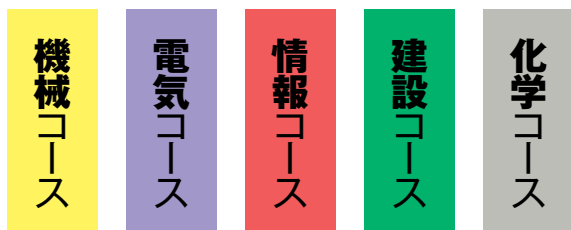
1年間かけて自分に適した専門コースを選ぶことができます。

専門コースの選択

本人の希望と第1学年の学業成績に基づきコースの選択を行います。

第2～5学年

希望する専門コースに配属



コース	機械コース	電気コース	情報コース	建設コース	化学コース
コース入学定員 (160名)	38名	38名	36名	20名	28名
推薦入学募集定員 (80名)	19名	19名	18名	10名	14名

ひとつの学科

従来の一般教科と複数の専門学科をひとつの学科としました。現代におけるものづくりは、異なる専門分野の人とチームとして協同しつつ課題を解決しなければなりません。そのため、幅広い知識と自らの専門技術に加えて、他分野の専門技術・知識も要求されます。創造技術工学科は、配属する専門コースだけでなく他分野の技術・知識も学べる学科です。

また、国際化に対応して、英語以外の第2外国語(中国語、ドイツ語等)、情報処理・ICT利用技術科目、キャリア支援に関する科目、副専門科目などの充実を図ります。

5つのコース

従来の学科に相当する「コース」を新設します。専門教育に重点を置く学科の特徴を活かしつつ、専門分野を共有した学習を通して学生の専門力が他専門への興味へとつながります。また、第2学年からのコース配属では学生の希望に沿った配属人数をコース毎に設定しています。

他方、各コースは当該専門分野の技術・知識を確固たるものにすべく、高専機構が定める「モデルコアカリキュラム(専門として学ぶべきカリキュラム)」相当科目を必修科目とします。それによって、従来の学科と同様に学生が専門技術・知識を確実に修得できることをめざします。

化学コースの新設

徳島県には多くの化学系企業があります。地元産業界等からの設立要請もあり、化学コースを設置し、産業界から期待される技術者を養成するとともに、化学分野への新たな技術の提供と研究を展開いたします。

副専門制の設定

第4・5学年において専門コースとは別に他コースの科目を履修する制度です。自らの専門とは別に他分野の専門知識を取得することで幅広い技術と知識を有する技術者になることが期待されます。

入試

入学試験は創造技術工学科として推薦選抜と学力選抜計160人の募集を行います。推薦選抜定員は各コース定員の50%とします。なお、表面の図に、入学後の第2学年から配属される標準のコース配属定員を「コース入学定員」、推薦入試で募集する各コース推薦入学定員を「推薦入学定員」として記載しています。

推薦選抜では、創造技術工学科の機械・電気・情報・建設・化学のコースのうち、いずれかひとつのコースを志望できます。学力選抜はコースを限定することなく創造技術工学科として80名一括の選抜を行います。

コース配属

第1学年は共通科目を履修

入学後1年間、すべての専門コースの基礎科目を学習することで、自分に適した専門コースを探すことができます。また、専門コース配属を考える際、ホームルームや学生支援ミーティングなどで担任やチュータ教員からきめ細かい指導・助言を受け、慎重に専門コース選択ができます。

第2学年からは専門コースへ

第2学年からは、各コース入学定員に基づき配属を行います。配属方法は、本人の希望と第1学年の学業成績によります。ただし、推薦選抜入学者は希望すれば推薦された専門コースに配属されます。他の専門コース配属を希望した場合には、学力選抜入学者と同じく、専門コースの再選択をすることになります。

特定の専門コースに希望者が集中した場合、第1学年の学業成績によっては、希望のコースに配属されない場合があります。

推薦選抜入学者の場合

希望すれば推薦された専門コースに配属されます。他の専門コース配属を希望した場合には、学力選抜入学者と同じ方法で専門コースの再選択をすることになります。

学力選抜入学者の場合

学生本人の希望に従って、専門コースを選択することになります。

アドミッションポリシー(入学者受入方針)

阿南工業高等専門学校は、しっかりした専門知識を、社会の中で実践的に活用できる可能性をもつエンジニアの育成をめざします。そのために必要な、次のような能力などの育成に向けて、揺らぐことのない目的意識と強い意欲をもつ人を求めています。

- エンジニアとしての責任感と倫理観
- 問題の解決能力
- 豊かなコミュニケーション能力
- 自立的な学習能力

コース紹介

機械コース

機械の設計・製造や技術開発について学び、自動車、航空宇宙、ロボット、重工、医療家電といったさまざまな産業分野で活躍できるエンジニアの養成をめざしています。

電気コース

現代社会の生活に欠くことができない電気の発電、輸送、応用について総合的に学び、電力、電気機器、通信といった分野で活躍できるエンジニアの養成をめざしています。

情報コース

ソフトウェア関連技術から実装回路技術のハードウェア関連技術にいたる知識を系統的に学び、情報通信技術の分野で活躍できるエンジニアの養成をめざしています。

建設コース

調査、設計、施工、管理など基礎的な建設工学分野とともに、都市・交通計画、建築、環境、防災など幅広い分野の知識を学び、建設・環境・住宅等の関連会社、官公庁、鉄道会社など様々な分野で活躍できるエンジニアの養成をめざしています。

化学コース

無機化学から有機化学におよぶ広範囲な材料及び化学工学に関する知識・技術を学び、材料開発、化学プラント開発、化学薬品製造などの分野で活躍できるエンジニアの養成をめざしています。



独立行政法人国立高等専門学校機構

阿南工業高等専門学校

since 1963
創立50周年

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木 265
TEL (0884) 23-7130 · FAX (0884) 22-4232